



「飲み物」の購入



- 家計調査結果より -

8月は全国的に1年間で最も平均気温の高い時期に当たります。同時に暑さによる熱中症での救急搬送件数が最も多くなる時期^{注1}でもありますので、熱中症にならないよう、日頃からこまめな水分補給を心がけている方も多いのではないのでしょうか。

そこで、今月は家計調査（二人以上の世帯）の結果から、飲料のうち「飲み物」^{注2}の購入を見てみましょう。

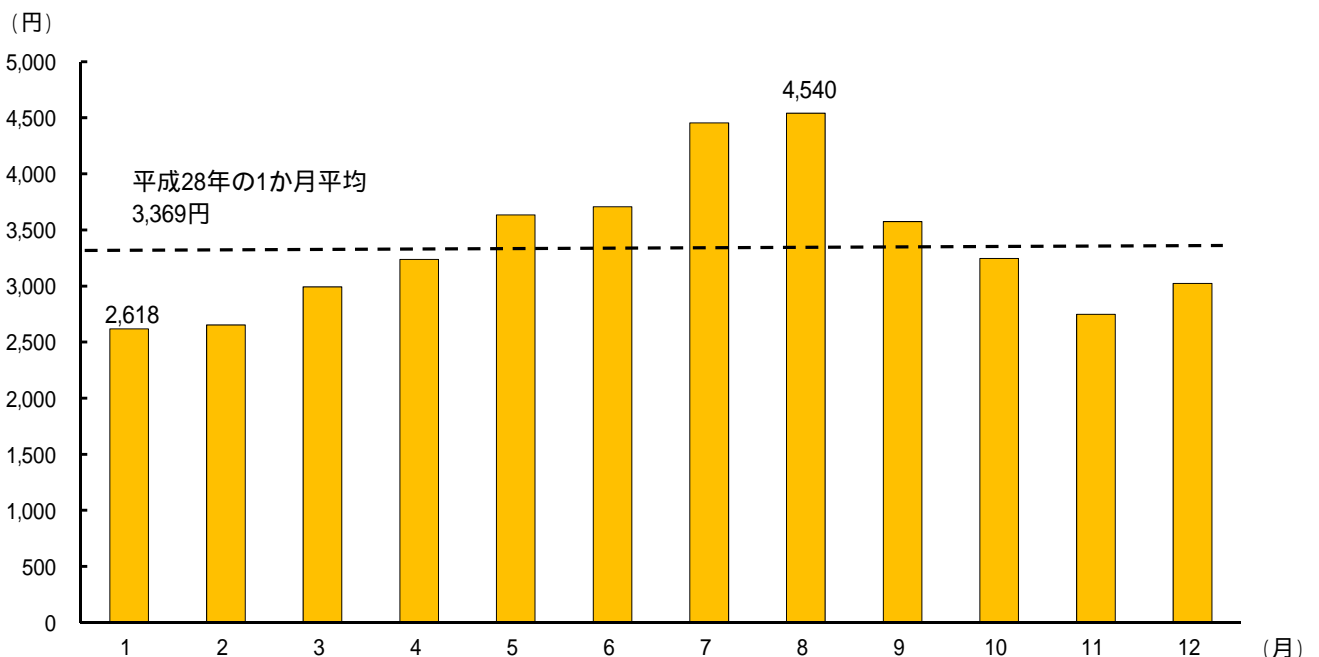
注1 総務省消防庁「平成28年の熱中症による救急搬送状況」より

注2 ここでは、飲料のうち茶葉やコーヒー豆などを除いた、ペットボトル等に入ったお茶やコーヒー飲料、ジュースなどの合計をいいます。また、牛乳や酒類も除きます。

飲み物の購入金額は8月に最も多い

最初に、飲み物の1世帯当たりの月別購入金額（平成28年）を見ると、8月が4,540円と最も多く、年間平均の1.3倍となっています。一方、最も少ない月は1月（2,618円）となっており、年間平均の約8割となっています（図1）。

図1 「飲み物」の月別購入金額（平成28年）

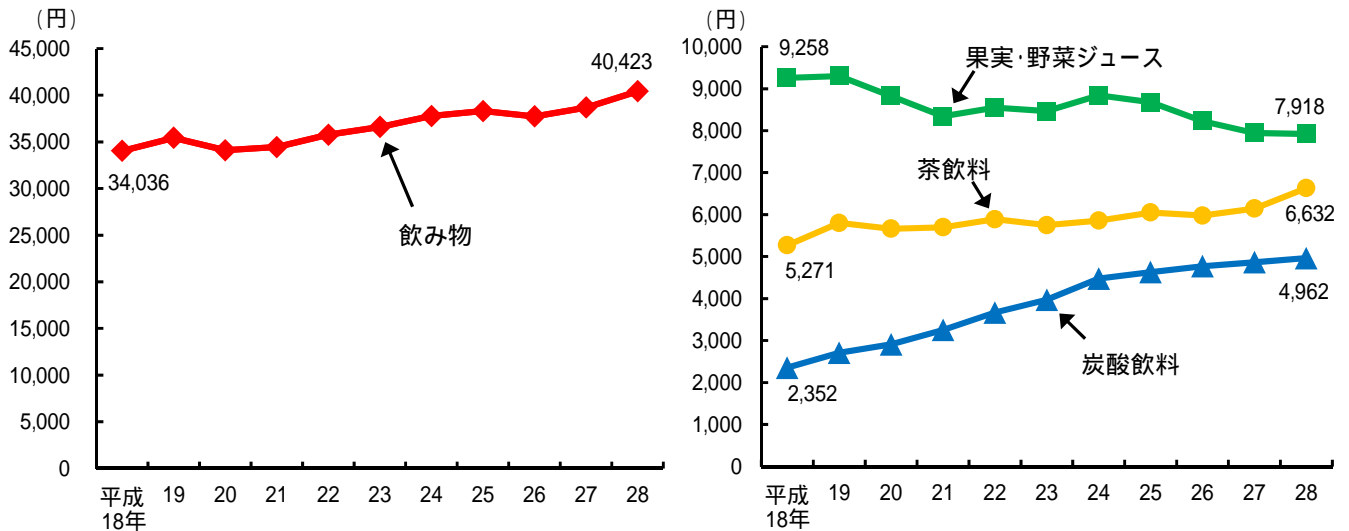


炭酸飲料の購入金額は10年で2倍以上に増加

次に、1世帯当たりの飲み物の年間購入金額の推移をみると、平成18年から28年までの10年間で1.2倍に増加しています。また飲み物の内訳のうち、年間購入金額の多い果実・野菜ジュース、茶飲料^{注3}及び炭酸飲料についてみると、果実・野菜ジュースは減少する傾向にありますが、茶飲料と炭酸飲料は増加する傾向にあります。特に炭酸飲料は10年間で2倍以上となっており、これはビール風ノンアルコール飲料の普及が一因と考えられます（図2）。

注3 茶飲料とはペットボトル等に入って売られている緑茶、麦茶などをいいます。

図2 1世帯当たり年間購入金額の推移



果実・野菜ジュースは青森市、ミネラルウォーターは那覇市が最も多い

最後に、飲み物に含まれる品目について都道府県庁所在市別の年間購入金額をみると、果実・野菜ジュースはりんごの生産が多い青森市で最も多くなっています。

また、ミネラルウォーターは那覇市で最も多くなっています。沖縄はサンゴが多いことで石灰岩の地層からなる部分もあって、水道水は硬度が高く飲みにくいことが影響しているのではないかとも言われています（図3）。

図3 1世帯当たり年間購入金額の都道府県庁所在市別ランキング（平成26～28年平均）

